

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。

このことに基づき、毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつができる子 ・ 心身ともに豊かな子 ・ 優しくて思いやりのある子 ・ よく遊び、よく考える子 |
|---|

評価結果の表示方法

A：十分達成されている。 B：達成されている。

C：取り組まれているが、成果が十分でない D：取り組みが不十分である

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	子供の興味を引き出し、気持ちに寄り添い保育をおこなった。
こどもの発達援助	A	子供の発達に合わせた保育を計画し実施した。
保護者との連携	A	日々の姿を伝え、参観や懇談を実施した。
地域との連携	B	地域の親子なども園の行事に参加をしている。
運営・管理、社会的責任	A	日々の業務が円滑に進むように職員間で相談を行った。
職員の資質向上	A	各種研修に参加し、学びあって専門性の向上に努めた。
安心・安全	A	ヒヤリハットを活用して安全管理に努め、対応した。

今年度の評価

<p>安心・安全な保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の安全点検を行い、子供に安全な環境を整えた。 ・ ヒヤリハットを報告し、事故防止に役立てた。 ・ 衛生面に気を付けて、感染防止対策に務めた。
-----------------	--

来年度の目標

<p>安心・安全な保育 保育の質の向上</p>
